

■ 2月勉強会

第5回金型関連技術発表講演会開催のご案内

好評により毎年開催決定これまで無かった関西発の金型技術情報

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は日本金型工業会の活動に格別のご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、西部支部主催第5回金型関連技術発表講演会を2月23日（木）に開催致します。万障お繰り合わせの上ご出席のほどお願い申し上げます。なお準備の都合がございますので、別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、2月16日（木）までに、事務局にメールr.tsuji@jdmia.or.jp か FAX 06-6479-1479でご返信のほどお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 平成29年2月23日（木）午後1時30分～午後5時40分  
午後6時00分～懇親会（予定）

場 所 発表講演会  
大阪科学技術センタービル 8階小ホール  
大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 【別紙案内図参照】  
懇親会場（本町駅付近を予定）

参加費 発表講演会 無料

懇親会 5,000円（当日徴収させていただきます）

申込み方法 別紙参加申込書を2月16日までにメールかFAXでお送り下さい  
メール r.tsuji@jdmia.or.jp

FAX 06-6479-1479

定 員 70名（定員に達し次第締め切らせていただきます。ご理解の程何卒よろしく  
お願い申し上げます。）

問い合わせ先・申込先 一般社団法人日本金型工業会西部支部

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル305

電話 06-6479-1477 FAX 06-6479-1479

以上

【プログラム①】

テーマ：世界最速の金型3次元CAD「TopSolid' Mold 7」

会社名：コダマコーポレーション株式会社

発表者：小金 佑介 氏

発表内容

TopSolid' Mold 7は、成形品の3次元CADデータを活用して、ブロー成形、射出成形、ダイカストなどの金型を3次元で設計する金型設計支援システムである。国内外の多数の金型メーカー活用されているTOPmoldの後継製品であり、ユーザーが期待してきた数々の要望を高度に実現する為、快適な操作感と最高のパフォーマンスを実現する為に開発された。成形品モデル、TopSolid' Mold 7で作成する金型の3次元モデル、2次元の金型組立図、部品図が相互に連動し、作業ミスの防止、設計工数の削減に貢献する。

またTopSolid' Mold 7の特長として、エジクタピンを数百本配置するなど、1,000を超えるモールド部品を用いる金型の型構造設計を行っても快適な操作性を維持できることがある。自動車の樹脂製バンパーやインパネ、エアコンや冷蔵庫などの大型部品の金型の設計で特に威力を発揮する。

【プログラム②】

テーマ：新熱処理炉による低ひずみ高性能熱処理

会社名：小山鋼材株式会社

発表者：田村 豪 氏

発表内容

ダイカスト金型の熱処理には、鋳造メーカーからは高寿命に繋がる急冷熱処理、金型メーカーからは熱処理ひずみ低減の要求がある。この両立困難な課題に対し、新熱処理炉を導入し解決を図った。本講演では、開発した炉の多様な焼き入れパターンと特殊冷却機構の内容と成果を紹介する。

【プログラム③】

テーマ：新型制御装置「D-CUBES」搭載新型ワイヤ放電加工機のご紹介

会社名：三菱電機株式会社

発表者：名古屋製作所 放電製造部

発表内容

新型制御装置「D-CUBES」搭載によりIoT技術を活用したリモートサービス(iQ Care Remote4U)に対応。段取りの「見える化」やランニングコスト削減支援・メール通報・加工技術支援等、当社独自のIoT活用と金型・部品の高精度・高速加工性能の向上により、生産性・保全性の大幅改善をサポートいたします。

【プログラム④】

テーマ：「世界初フルデジタル形彫放電加工機」のご提案

会社名：日工機材株式会社

発表者：株式会社アイトロニクス 藤本 尚也 氏

発表内容

1. コンパクト設計による省スペース、設置面積650mm×650mm。
2. 抜群のコストパフォーマンス。導入コストは1/4～1/3。
3. 電極サイズの自動認識機能搭載。操作性が簡単。
4. 100V電源、低消費電力でランニングコストの大幅削減。
5. 加工プログラム自動作成機能により高精度、光沢仕上加工。
6. クランプチャック EROWA・System3R・20φシャンク対応。

※休憩（約10分）

【プログラム⑤】

テーマ：DFM (Design for Manufacturability) をサポートする最新IT技術

会社名：株式会社エリジオン

発表者：稲見 理 氏

発表内容

- ・開発の初期から製造可能性を考慮するDFMの普及
- ・DFMを実現する最新IT技術の紹介  
人手、目視によるCADモデルチェックを自動化→設計品質向上へ
- ・大手企業数社における先行事例紹介
- ・エリジオン製パッケージソフト「DFM Studio」の紹介 他

【プログラム⑥】

テーマ：3次元CAD「SOLIDWORKS」上で動作する樹脂流動解析ソフト

会社名：株式会社CAEソリューションズ

発表者：大桑 一 氏

発表内容

「SOLIDWORKS Plastics」は一般的な樹脂流動解析から2色成形、ガスアシスト成形まで対応できるソフトウェアです。最新の2017で搭載された自動バルブゲートによる本格的な制御バルブのタイミング検討や、冷却解析機能の強化により、CFDを使用した冷却シミュレーションによる管内の流速、冷媒の滞留部の検討ができるようになりました。今回はこれらの事例などを交えながら、ご紹介していきたいと思っております。

### 【プログラム⑦】

テーマ：金型製造における新加工工法（改革工法）について

会社名：株式会社金型コンサル

発表者：梶原 康仁 氏

#### 発表内容

金型業界が激化する中で、稼ぐ力を強化する為には、全体の50%以上を占めるNC加工のコストダウンは必須だが、人材の高齢化、リーマンショックから多くの熟年工が金型業界を去ってしまい、付加価値の高いノウハウが低下しつつある。

そこで、従来の加工方法を超えた新工法（改革工法）を紹介。加工時間短縮30%達成を実現できる切り札！

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| ①超深彫り加工でもビビリレスの新加工方法       | ③磨きまで考慮した高精度な新加工方法          |
| ②加工工程短縮（加工時間短縮）が可能になる新加工方法 | ④金型コンサルオリジナルソフト（KC-TOOL）の紹介 |

### 【プログラム⑧】

テーマ：JBMが提案する解決策 金型製作の合理化、効率化

会社名：株式会社ジェービーエム

発表者：高橋 浩 氏

#### 発表内容

JBMは、データ通信から始まった会社です。CAMを中心に製造業向けのソリューションを提供してきました。製造業の中でも金型に関する技術を事例を用いて発表致します。

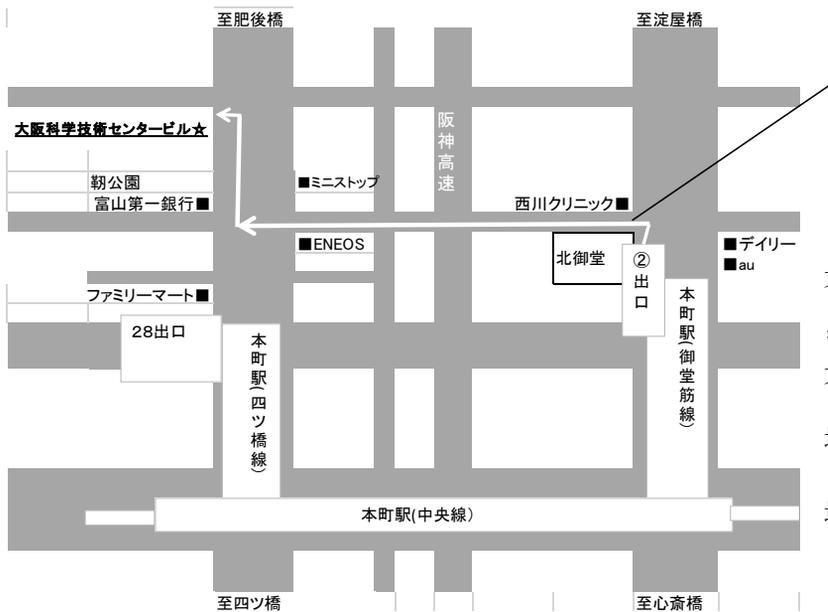
「金型」と一言で言ってもその種類は多義に渡り、プラ型、プレス型、鋳造型、鍛造型、ゴム型・・・。その製造現場で世界でもレベルの高い金型を作る職人の創意工夫、勘どころを、JBM社のソフトウェアで支援している事例を紹介致します。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| ・プレス金型のトライ調整の削減    | ・樹脂成型型の変形計測と修正            |
| ・鍛造金型の引き下ろし加工の効率化  | ・鋳造品の芯だし                  |
| ・焼入れ鋼、直彫、超硬直彫。高効率化 | ・金型磨き作業をロボット化の実現          |
| ・製造現場での3Dプリンターの活用例 | ・金型の製造、修理等にリバーシブルニアリングの活用 |

etc

  
**第5回金型関連技術発表会**  
**参加申込書**  
 (FAX 06-6479-1479)

会社名		
お役職／部署名		( ) 講演会 無料
お名前		( ) 懇親会 5,000円
お役職／部署名		( ) 講演会 無料
お名前		( ) 懇親会 5,000円
電話番号／FAX	電話：	FAX：
メールアドレス		



大阪科学技術センタービル  
 (OSTEC)  
 〒550-0004  
 大阪市西区鞠本町1-8-4

地下鉄四つ橋線「本町駅」  
 28番出口より北へ徒歩3分  
 地下鉄御堂筋線「本町駅」  
 2番出口より西へ徒歩7分

「大阪科学技術館」の看板が目印です。そちらにお入り下さい。  
 駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用下さいます様お願い申し上げます。